ALINCO

フラットウォーカー3914Neo

AFW3914

取 扱 説 明 書

INDEX

安全にご使用していただくために

取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分理解された上でご使用ください。

● 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。ご了承ください。

●無断の複製は固く禁じます。

ご使用前に必ずお読みください

この度は、フラットウォーカー3914Neo「AFW3914」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
この取扱説明書は、本製品の設置と使用上の注意及び警告事項について詳しく記載しています。
本製品をご使用になる前には、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、記載内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、必要な時にいつでも調べられるよう、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。尚、本製品のご使用制限は体重90kg以下・連続使用時間30分までとなります。（機器の連続使用によって熱を帯びた部品を冷却し、故障を防止するため、また、機器を末永くご使用いただくため、連続使用後、約1時間は機械を休ませてください。）

⚠ 本製品のご使用は、注意を怠ると大変危険です！

家庭で行うトレーニングは、ちょっとした不注意で大きな事故につながります。
本書に記載されている内容を守り、自己の責任のもとでトレーニングを行ってください。

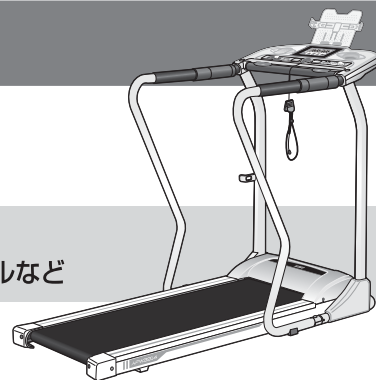
- 本製品は、マグネット式の安全装置により、トレーニング中の予期せぬ事故などが発生したとき、安全キーが外れることで速やかに速度を落とし停止することが出来ます。トレーニングを行うとき、必ず安全キーを装着してください。
- 本製品は、過負荷や静電気からモーターや電子部品等を保護する為に強制的に電源供給を停止させる機能がついています。その時には、突然停止する場合がありますので、ご使用の際には突然停止しても転倒しないよう、必ずサイドハンドルを持ち、安全に止まれる速度の範囲でご使用ください。
- また、安全キーを外すことによって停止させることができますので、本機をご使用する前には必ず、ご使用の速度で安全に停止できるか確認した上でご使用ください。
- 部品が消耗した状態でのご使用は、大変危険ですのでお止めください。
- 速度調節ボタンはゆっくりと操作してください。急な操作は機器を傷めるばかりではなく、重大な事故を引き起こす恐れがありますのでお止めください。

お客様の不注意によるいかなる事故も、弊社としましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠ 床面保護マットについて

床面保護と静電気による故障防止の為、本機の下には
必ず、静電気の帯びにくい素材のマットを敷いてください。

マットの素材　○良いもの ： 木綿、麻など
　　　　　　　×ダメなもの ： ナイロン、ポリエステル、ポリエチレン、ウールなど

弊社では床を保護する不燃性のフロアマット（専用マット）を販売しておりますので、
お買い上げいただいた販売店もしくは弊社カスタマーサービス課までお問合せください。

警告・注意

安全のために、必ずお守りください。

取扱説明書の警告及び注意内容は、危険の度合によって次の2段階に分けています。
表記されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従った使用法で点検・運動を行ってください。

⚠ 警　告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

⚠ 注　意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れのあることを示します。

・破損したままで使用しますと、傷害事故の原因になります。

本書記載の警告及び注意事項を遵守されずにご使用されて生じたいかなる事故につきましても、弊社としましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また、本書記載の警告及び注意事項に該当すると思われる場合は本製品のご使用はせず、ただちに弊社カスタマーサービス課へお問い合わせください。

●また、各ページには安全にご使用いただくための注意点も表記しております。よくお読みいただき、書かれている内容を十分ご理解の上、ご使用ください。

警告・注意事項

使用前の警告事項

⚠ 警　告

1. 本製品は家庭用のトレッドミル（フィットネスウォーカー）です。学校・スポーツジム等、不特定多数の使用者によって使用されるものではありません。また、動物の運動用や運動以外の目的では使用しないでください。
2. 本製品は歩行用です。走行用として使用しないでください。
3. 本製品は日本国内でのみお使いください。
4. 本製品の使用は健康な方を対象としています。
次に該当する方は本製品を使用しないでください。
   - 医師が使用を不適当と認めた方

   次に該当する方は必ず医師に相談の上、ご使用ください。
   - 医師の治療を受けている方や、特に身体の異常を感じている方
   - 知覚障害のある方
   - 妊娠している、または妊娠の疑いのある方
   - 皮膚疾患のある方
   - 血行障害、血管障害など循環器に障害をお持ちの方
   - 骨粗しょう症など骨に異常のある方
   - 心臓に障害のある方
   - ペースメーカー等の体内植込型医用電気機器を使用している方
   - 呼吸器障害をお持ちの方
   - 高血圧症の方
   - 内臓疾患（胃炎、肝炎、腸炎）等の急性症状のある方
   - 悪性の腫瘍のある方
   - リウマチ症、痛風、変形性関節炎等の方
   - 過去の事故や疾病等により背骨に異常のある方や背骨が曲がっている方
   - 腰痛（椎間板ヘルニア、脊椎すべり症、脊椎分離症等）のある方
   - 脚、腰、首、手にしびれのある方
   - 脚部に静脈りゅう等の重度の血行障害や血栓症等のある方
   - リハビリテーション目的で使用される方

   上記以外に身体に異常を感じている時
5. 本製品の使用体重制限は最大90kgです。体重が90kgを超える方はご使用にならないでください。ご使用中、機器が破損する恐れがあり、重大な事故を引き起こす原因になります。
6. **本機の連続使用耐久時間は、最高30分です。30分以上の連続作動はお止めください。また、ご使用後1時間はご使用にならないでください。故障の原因になります。**
7. 小学生以下及び一人での運動に不安を感じている方、または他者から見てそう感じられる方が使用される場合やリハビリテーションでの目的で使用される場合は、成人（健常者）の方の介添えの上、ご使用ください。また、5才以下の乳幼児やペットのいる場所でのトレーニングはお止めください。
8. この取扱説明書及び保証書は、大切に保管されますようお願いします。紛失された場合、再発行はお受けしかねることがあります。

設置時の注意・警告事項

⚠ 警　告

1. 本製品を長期にわたりご使用いただくため、ボルトの締まり、ピンの差し込み、金属バリ等の有無、変形、また、全ての溶接箇所にひび割れ等がないかご確認ください。
2. 設置完了後の試運転及び、ご使用中は、ローラーや歩行ベルト等の駆動部分に手足や髪の毛などを巻き込まれないようにご注意ください。
3. 本製品の設置の際は、ボルト、ナット、パイプ等に手、指等をはさまないようにご注意ください。また、床面を保護するマット等をご使用ください。
4. 設置が完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。またホイールカバーを取り付け及び取り外す時には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
5. 安全のため、設置の際は必ず、軍手等を着用して、大人2人以上で行ってください。
6. 本製品をご自分で改造もしくは、付加及び部品を取り外した状態で使用された場合、重大な事故を起こす恐れがありますので絶対にしないでください。
7. 使用者がトレーニング中に他の器具に触れないような場所に設置し、本製品の後方面は歩行速度についていけない場合などの避難場所として2m以上空けてください。

⚠ 注　意

1. 設置前に部品が全て揃っているか、必ずご確認ください。もし揃っていない場合はお手数ですが、弊社カスタマーサービス課までご連絡ください。
2. 使用時、折りたたみ時には、必ず歩行板がロックピンでしっかりと固定されているかご確認ください。
3. 設置完了後、大きなグラつきやガタつきがないか十分にご確認ください。

電動機器の警告事項

本製品はAC100V電源を使用します

⚠ 警　告

1. 直射日光の当たる場所や湿気の多い場所、熱器具の近く、屋外には設置しないでください。感電・漏電・発火の原因になります。
2. 本製品の分解・改造は行わないでください。故障や、感電・漏電・発火の原因になります。修理につきましては、まず弊社カスタマーサービス課までご相談ください。
3. 電源は1つのコンセントから取ってください。複数の配線をつなげたタコ足配線はおやめください。
4. 使用されないときや、雷が鳴り出したときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障や、感電・漏電・発火の原因になります。
5. コンセントから電源プラグを抜き差しするときには、濡れた手で触ったり、電源コードを引っ張ったりしないでください。また、電源コードやプラグが傷んだり、プラグの差し込みがゆるんだ状態のままでのご使用はしないでください。故障や、感電・漏電・発火の原因になります。
6. 本製品の連続30分以上のご使用や、歩行ベルトの回転に逆らうようなご使用はお止めください。機械を傷めるばかりか、感電・漏電・発火の原因になります。
7. 本製品の使用を中止するときには、安全キーをはずしてから、本体メインスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。使用するときも、コンセントに電源プラグを差し込んでから、本体メインスイッチを入れ、安全キーをセットしてください。内蔵コンピューターの誤作動を防ぐために、この順番は必ず守ってください。

8. 室温が10℃以下・35℃以上の状態ではご使用にならないでください。駆動部分が正常に作動しなくなる恐れがあり、部品等の劣化も早めます。また、室温が低いとモーターが正常に動かずスピードが上がりません。

使用中の注意・警告事項

⚠ 警　告

1. ご使用になられる前には、その都度、各部の部品が完全に固定されているか、必ず確認してください。ボルトがゆるんでいますと、ご使用中にパーツがはずれたりすることもあり、重大な事故を起こす恐れがあります。
2. 本製品への巻き込みを防ぐため、運動中は身体のサイズにあった運動着を着用し、(ゆったりと余裕のありすぎる衣服は避けてください。)また、手指や髪の毛などの巻き込みに注意してください。
3. **裸足で本製品をご使用になるのは危険ですのでおやめください。**必ず、ゴム底の運動靴(ランニングシューズ、トレーニングシューズ)をはいてご使用ください。運動靴をはかずに使用された場合、足の巻き込みやケガ、事故の原因になります。
4. 乗降する際、サイドハンドルにもたれかかったり、使用中に左右に激しくゆする運動、また周囲の人が使用者、及び本製品を押したり引いたりする行為は、安全性を損ない重大な事故を起こす恐れがありますので決してしないでください。
5. 安全のため、ピンやボールペン等をポケットに入れたり、衣服に付けたままでの運動は絶対にしないでください。
6. 本製品をご使用の際には、必ずロックピンで歩行板をしっかりと固定した後、ご使用ください。
7. ご使用される前には十分な準備運動を行い、体をほぐしてください。また、運動後も同様に体をほぐしてください。いきなりトレーニングされますと筋肉等に損傷を及ぼす原因になります。
8. 安全のため、使用中以外でも歩行ベルトやローラー部分に手、指を入れたりせず、また物や動物、特に小さなお子様が本製品に近づかないように十分注意してください。
9. 本製品の「折りたたみ時」「ご使用時」、及び「移動時」の際には、ボルト、パイプ等に手、指等をはさまれないようにご注意ください。
10. 本製品は1人用です。同時に2人以上でご使用にならないでください。
11. 運動は少し疲れる程度の運動量を毎日継続して行うのが良く、無理な運動は筋肉を傷めるばかりか、運動効果も少なくなります。
12. 下記のような症状が出た時は、運動を中止してください。(めまい、ふらつき、冷や汗、顔面蒼白、失神、嘔吐、心拍の乱れ、動悸、胸の圧迫感、けいれん、腱・靭帯の痛み、骨折、その他心身の異常)
13. **ご使用中は必ず、サイドハンドルをにぎってご使用してください。**
14. 本製品は自動運転のウォーキング機器です。万一、ご使用中にバランスをくずしたり、転倒した場合や緊急停止させる場合は、表示メーターに付いている「安全キー」を手で取り去るか、瞬時に本機から離れる様にしてください。
15. 健康の為、食直後は運動を避けてください。また、飲食・喫煙をしながらや飲酒後の運動は行わないでください。
16. **安全のため、始動時には歩行ベルトの上には乗らず、ベルトがゆっくり低速で動き出すのを約10秒間以上確認してから乗ってください。**
17. 高速で歩行ベルトが動いた状態では決して乗らないでください。
18. 保護者の方は小さなお子様が本製品を遊具として使用しないよう十分ご注意ください。
19. 本製品をご使用される前には、本製品の下や周囲に歩行ベルトに巻き込むような物がないか確認してください。
20. 後ろ向きでの歩行や走行は危険ですので、絶対にしないでください。

⚠ 注　意

1. 本製品は必ず屋内でご使用ください。屋外や倉庫、ベランダや軒下などのチリやホコリ、砂、ペットの毛などが多い場所、浴室など湿度の高い場所、熱器具の近くでは使用しないでください。サビや傷み・故障の原因になります。
2. 本製品は水平な床の上に設置し、**使用中及び機械の移動・保管の際にも必ず床面を保護する不燃性のマット等を敷いてください。また直接、床材(塩化ビニル樹脂等)の上にて使用した場合、設置面の材質によって床材が変色する場合があります。**特に、畳の上ではご使用にならないでください。畳に損傷を与えます。(弊社では専用マットを別売しております)
3. 運動中に体を壁や柱にぶつけないよう、広い場所でお使いください。
4. 使用中に歩行ベルトが本体フレームの片側に擦れそうになる程、一方に片寄った場合は直ちに歩行ベルトを調整してください。
5. 本製品をテレビやラジオの近くでご使用されますと、テレビの画像やラジオの音声にノイズ(雑音)が入ります。その際には、テレビやラジオ又はそれらのアンテナから離れた場所へ移動させてください。

お手入れ・保管についての注意・警告事項

⚠ 警　告

1. 保管場所は本製品でつまずかないような場所に置き、特に小さいお子様が勝手に触ることのないよう、必要に応じて梱包等を施してください。また、直射日光が当たる場所や高温・多湿な場所には保管しないでください。
2. 万一、故障その他のトラブルが発生した場合には、お手数でも弊社カスタマーサービス課(フリーダイヤル0120-30-4515)までご相談ください。
3. 長期間ご使用になられますと、サビや摩耗により部品等の劣化が起こる場合があります。お買い上げ日より1年間を過ぎた製品で、購入日が弊社にて確認できる場合は有償にての点検サービスも行っておりますので、お気軽に弊社カスタマーサービス課までご相談ください。
4. 本製品は折りたたみ保管することができますが、保管場所は固く水平な床の上に設置してください。また、振動などで倒れる可能性がございますので、本体の周囲に人(お子様)やペットがいないこと、そして家具などの障害物がないところに必ず保管してください。

⚠ 注　意

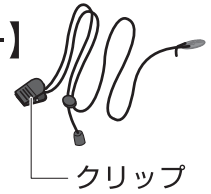
1. お手入れの際には必ず本体メインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 本製品を長期にわたりご使用いただくため、定期的に汚れ等を拭きとってください。また、汚れが落ちない場合は、中性洗剤のうすめ液で拭きとってください。
3. 本製品は、塗装加工及び各部に樹脂を使用していますのでシンナー系や酸系の強い洗剤でのお手入れはお避けください。
4. 長期間保管され、再び使用される場合は、本書の警告及び注意事項を再確認の上、ご使用ください。また、長期間使用されなくとも、部品の油切れ及びサビの発生、歩行ベルト下のデッキ表面に塗られているシリコンオイルの乾きなどが予想されますので、本書の警告及び注意事項を確認し、しばらく空回しを行って異常がない事を確かめてから、ご使用ください。

警告・注意事項

■運動前の注意

歩行ベルトの上に乗った状態でスタートしない。

始動時には、両足を歩行ベルト左右のステップの上に乗せてスタートします。ベルトがゆっくり動き出すのを確認してから、歩行ベルトの上に足を乗せてください。
足を乗せた際にバランスを崩す恐れがありますので、サイドハンドルをしっかり握り、慎重に足を乗せてください。
また、高速で歩行ベルトが動いた状態では決して乗らないでください。

【安全キー】

クリップ

安全キーを装着する。

安全キーは緊急停止時に取り外すものです。クリップで胸元あたりに取り付けてください。

運動中はサイドハンドルを握る。

ハンドルを握らないで運動した場合、転倒など、事故やケガの原因となります。

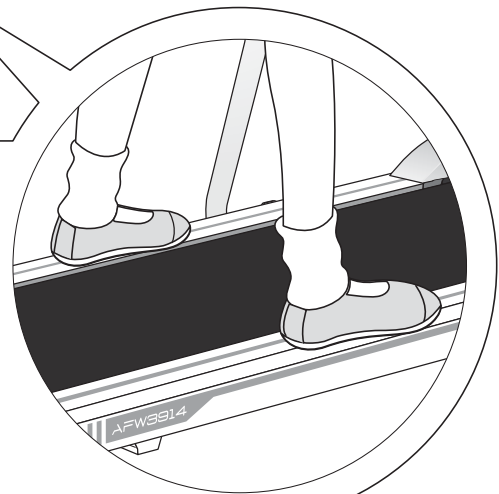
サイドハンドル

ステップ

歩行ベルト

ローラー

裸足で使用しない。

必ず運動靴を履いて使用してください。運動靴を履かずに運動された場合、足の巻き込みやケガや事故の原因になります。

警告・注意事項

■運動中の注意

裸足で使用しない。

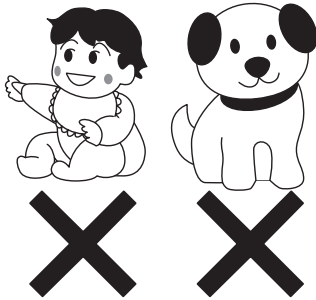
必ず運動靴を履いて使用してください。運動靴を履かずに運動された場合、足の巻き込みやケガや事故の原因になります。

完全に停止するまで、サイドハンドルから手を離さない。

運動終了時、歩行ベルトが完全に停止するまでサイドハンドルをしっかり握り、ハンドルから手を離さないでください。

走らない。

本製品は歩行用です。

小さなお子様やペットのいる場所で使用しない。

後ろ向きで使用しない。

ローラーや歩行ベルト等の回転部分に触れない。

手足や髪の毛などを巻き込まないようにご注意ください。

子供に触らせない。

使用中・保管中は、本製品の近くで小さなお子様を遊ばせないようご注意ください。

各部の名称 部材及び付属品

梱包をあけましたら、必ず各部品・付属品が揃っているかご確認ください。

タブレットトレー
※トレー固定用ネジ（2個）

安全キー
ドリンクホルダー
グリップバー
グリップセンサー
サイドハンドル
表示メーター
スピーカー
サイドハンドル
固定用ストッパー
本体支柱
折りたたみ用
ストッパー
ホイールカバー
電源プラグ
電源コード
フロントレッグ
固定用ストッパー
ロックピン
歩行板

本製品は折りたたむことができます。
本体を展開、また折りたたむ場合は
P11「歩行板の開き方･折りたたみ方法」
を参照ください。

本体メインスイッチ
キャスター
ステップ
ベルト調整ボルト
ローラーキャップ
リアレッグ
歩行ベルト

本　体

サイズ（組立状態）：W 610 × D 1,350 × H 1,010 mm（タブレットトレー含まず）
サイズ（折りたたみ状態）：W 610 × D 400 × H 1,260 mm（タブレットトレー含まず）
歩行面：W 345 × D 1,000 mm
速度調節幅：1.0km/h～6.0km/h
重量：約32.5kg
電源/最大消費電力：AC100V(50/60Hz)／130W

■ 歩行ベルトの継ぎ目について

歩行ベルトの継ぎ目（接着面）は、色が異なりますが、
異常ではございませんので、あらかじめご了承ください。

付属品

タブレットトレー＋
トレー固定用ネジ（2個）　1組

付属工具　1種

設置上の注意

本製品を設置する上で、いくつかの注意事項があります。以下の注意事項を確認し、適した場所でのトレーニングを行ってください。

次のような場所への設置は避けてください。

1．設置場所の床強度が弱い。
2．屋外及び直射日光が当たる場所。
3．高温多湿の場所。
4．傾斜のある場所。
5．設置後、周囲にスペースがなくなる。

設置スペースについて

本製品の設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を設け、ウォーカーの周囲、特にその後部には使用者の転倒に備えて厚手のマット等を敷き、事故防止が配慮されている場所をお選びください。

本製品を使って安全なトレーニングを行っていただくために、本製品の周囲には右図のスペースが必要です。このスペース以上を確保できる場所に設置するようにしてください。

万一転倒して放り出されたときぶつからないよう、後方2mには障害物を置かないでください。

300mm
1,350mm
600mm
610mm
600mm
2,000mm
トレーニング
メンテナンス
スペース

⚠ 注 意

※歩行板の下や周囲に人やペット、物が置いていないかご確認ください。
※運動する際は、必ず歩行板がロックピンでしっかり固定されているかご確認ください。

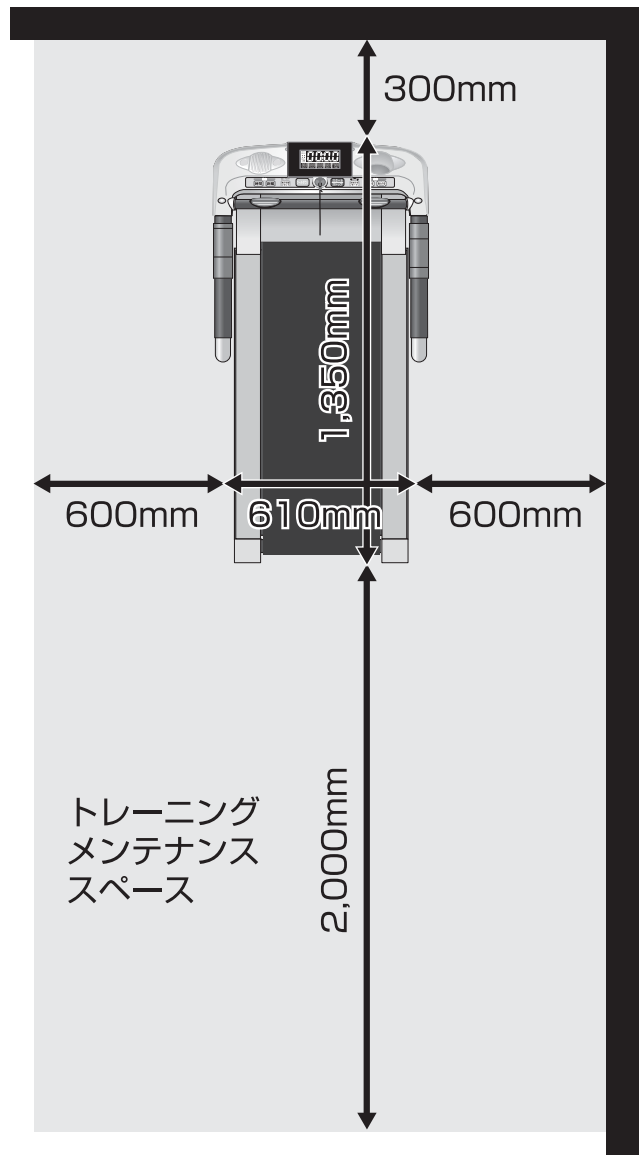
⚠ 警 告

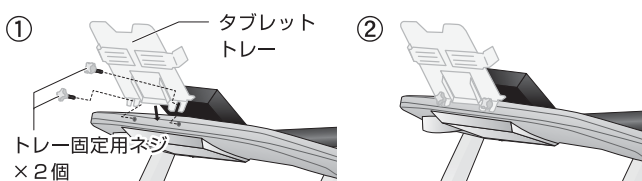
※折りたたみ時は、歩行板がロックピンでしっかり固定されているかご確認ください。歩行板が倒れる場合があり、大変危険です。
※歩行板を上げ降ろしする時には、必ず最後まで歩行板（ローラーキャップ部）から手を離さないでください。

電源について

本製品はAC100V電源を利用します。
本製品は必ず適切なコンセントにつないでください。誤ったコンセントの設置は感電の恐れがあります。

⚠ 注 意

電源は１つのコンセントから取ってください。複数の配線をつなげたタコ足配線はおやめください。

タブレットトレーの取り付け方法

付属のタブレットトレーをトレー固定用ネジ2個で表示メーターに固定してください。

タブレットトレーを取り付けると、メーターパネルにタブレット端末を置くことができます。

⚠ 注 意

タブレット端末を設置したら、落下を防ぐため左右の固定ステイでタブレット端末をしっかり固定してください。
また、運動中の振動で落下するような不安定な置き方はしないでください。

表示メーターの機能／グリップセンサー使用上の注意

この表示メーターは速度・時間・距離・カロリー・心拍数をデジタル表示し、時間及び距離の目標設定ができます。

メイン表示部

液晶表示部

運動中、表示切替／リセットボタンを押すと表示項目が切り替わります。

スキャン → 速度 → 時間 → 距離 → カロリー → 心拍数 → スキャン

スキャン

スキャン選択時は、表示項目が自動で切り替わります。

速度 km/h

運動中のスピードを表示します。(1.0〜6.0km/h)

時間 分：秒

残り時間を表示します。

距離 km

歩行距離を表示します。

カロリー kcal

運動中の消費カロリーを表示します。

※同じ運動をしても、人によって消費カロリーは違います。メーターの表示はあくまで一般的な目安としてください。

心拍数

測定した心拍数を表示します。心拍数の測定方法は、「グリップセンサー使用上の注意」をご覧ください。

表示切替／リセットボタン

短押し：メイン表示部の表示項目を切り替えます。

長押し：停止時に長押し（3秒以上）すると、表示画面をリセットします。

スピーカー

音声モードがON時に音声が流れます。

タブレットトレー

タブレット端末を置くことができます。取付方法は、P7に記載しています。

表示パネル

この表示パネルは角度の調節が行えます。お好みの角度に合わせてご使用ください。

お知らせモードボタン

お知らせモードのON、OFFや音量を変更する際に使用します。

速度調節ボタン

運動中の速度調節に使用します。

ドリンクホルダー

安全キーセット位置

この場所に安全キーをセットします。

- ●安全キーをセットしなければ画面が表示されません。
- ●使用中安全キーが外れると停止します。

時間/距離設定ボタン

時間、距離の目標設定の際に使用します。

クールダウンボタン

1分間のクールダウンを自動で行う際に使用します。

スタート／ストップボタン

運動の開始/停止を行います。

グリップバー

グリップセンサー

心拍数を測定する際に握ります。

●この表示メーターは非常にデリケートにできていますのでボタン操作の際は強く押さないでください。破損の原因になります。

グリップセンサー使用上の注意

■心拍数測定のアドバイス

グリップセンサーは、手のひらが乾燥していたり、汗などで濡れている場合、正しく測定できない場合がございます。

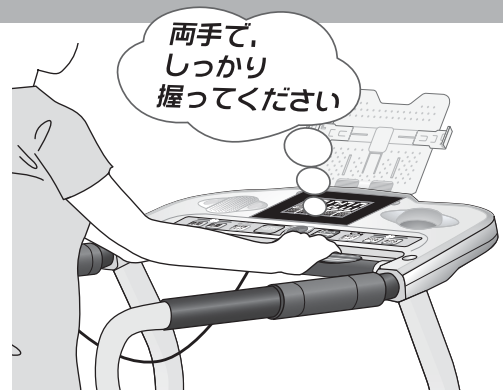
【手のひらが濡れている場合】

タオルなどで汗をしっかり拭き取ってから測定してください。

【手のひらが乾燥している場合】

濡れタオルなどで手を少し湿らせてから測定してください。

■グリップセンサーは両手で握る

グリップセンサーは片手では測定できません。

●血行が良くない状態では、血管の収縮による変化が微小なために読み取れない場合があります。その場合には、血行を良くしてから測定をしてください。

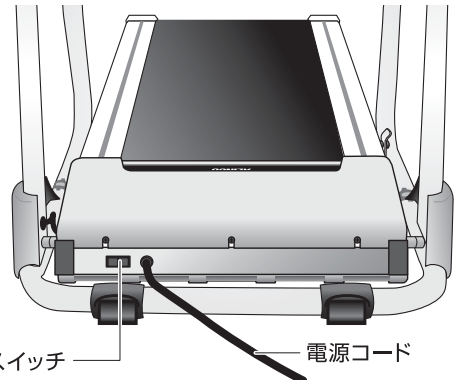
●この表示メーターは、医療機器ではありません。表示メーター上の数値はあくまで運動の目安としてご使用ください。

表示メーターの設定及び操作方法

※ 🔊 は音声を表します。ただし、【お知らせモード】OFFの場合は、音声は流れません。

1 電源を入れます

電源プラグをコンセントに差し込み、本体メインスイッチをONにしてください。
（ONの状態では本体メインスイッチが点灯します）

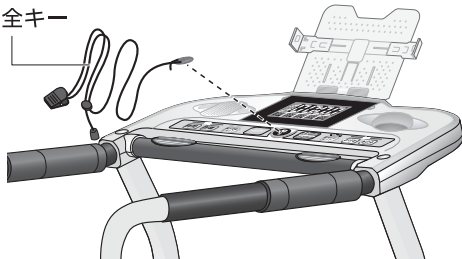
⚠警告
必ず家庭用100Vのコンセントにつないでください。
100V以外のコンセントに接続しますと、機器が破損し重大な事故を引き起こす原因になります。
1つのコンセントから複数の配線をつなぐタコ足配線はおやめください。

2 安全キーをセットします

安全キーを表示メーター中央下の「安全キーセット位置」セットします。（8ページ参照）
●安全キーがない状態でボタンを押すと音声や警告音でお知らせします。

【お知らせモード】ON時
🔊:「安全キーをセットしてください。」

【お知らせモード】OFF時
「ピィピィ」と警告音がなります。

⚠注意
本製品は、トレーニング中の予期せぬ事故などが発生したとき、安全キーが外れることで速やかに速度を落とし停止することができます。
トレーニングを行うとき、必ず安全キーを装着してください。

⚠注意

【運動前の準備】
この表示パネルは角度の調節が行えます。
お好みの見やすい角度に合わせてご使用ください。

3 お知らせモードと音量を決める

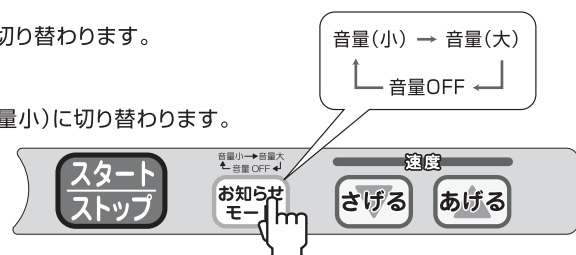
※電源を入れるとお好みに合わせて【お知らせモード】をOFFにしたり、【音量】の大小を調節することができます。

設定を変更する場合

【お知らせモードボタン】を1回押す⇒【音量大】に切り替わります。
🔊:「音量を大きくします」

【お知らせモードボタン】を2回押す⇒【お知らせモード】がOFFに切り替わります。
🔊:「お知らせモードをOFFにします」

【お知らせモードボタン】を3回押す⇒【お知らせモード】がON（音量小）に切り替わります。
🔊:「お知らせモードをONにします」

音量（小） → 音量（大）
音量OFF

4 各種項目を設定する

表示メーターの設定及び操作方法

4 各種項目を設定する

時間・距離設定

時間の設定

【時間設定ボタン】を押し、目標の時間に設定します。(10分/20分/30分)

○時間を設定していても、距離の設定が先に到達すると自動停止します。

時間設定画面

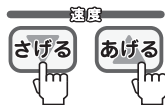
距離の設定

【距離設定ボタン】を押し、目標の距離に設定します。(1km/2km/3km)

○距離を設定していても、時間の設定が先に到達すると自動停止します。

距離設定画面

5 運動を開始します

【スタート/ストップボタン】を押します。⇒ 歩行ベルトがゆっくり動き出すのを確認してから、歩行ベルトの上に乗ります。

【速度調節ボタン】でお好みのスピードに合わせてください。

【表示切替／リセットボタン】を運動中に押すとメイン表示部の表示項目が切り替わります。

スキャン → 速度 → 時間 → 距離 → カロリー → 心拍数 → スキャン

※スキャン:数秒ごとに表示を自動切換します。

設定した時間、距離に達すると警告音(もしくは音声アナウンス)の後に歩行ベルトが自動停止します。

○距離の設定をしている場合、残り時間の音声案内に関わらず、距離の設定が先に到達すると自動停止します。

6 停止方法

運動を停止する場合は以下の方法があります。

スタート/ストップボタン を押すと停止します。

🔊:「停止します。ご注意ください。」

安全キー を外すと停止します。

🔊:「停止します。ご注意ください。」

設定した時間、距離 が「0」になると停止します。

🔊:「停止します。お疲れ様でした。」

クールダウンボタン を押すと、

1分間で徐々に速度を下げながら運動を終了します。

🔊:停止1分前:「まもなく減速します。ご注意ください。」

🔊:停止直前:「停止します。ご注意ください。」

※クールダウン中でも、緊急で停止させる時には、【安全キー】を外してください。

> ⚠ **注 意**
>
> 緊急停止する時には、クリップで胸元あたりに取り付けた「安全キー」のひもを引っぱり、「安全キー」を外してください。

●リセットしていない時には、距離・カロリーの数値は保存され、再スタートの際は保存している数値からカウントされていきます。

●【表示切替／リセットボタン】を長押し(3秒以上)するとリセットされ、初期画面に戻ります。

🔊:「リセットします。」

7 ご使用終了後

表示メーターの「安全キー」を外し、本体メインスイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜きます。

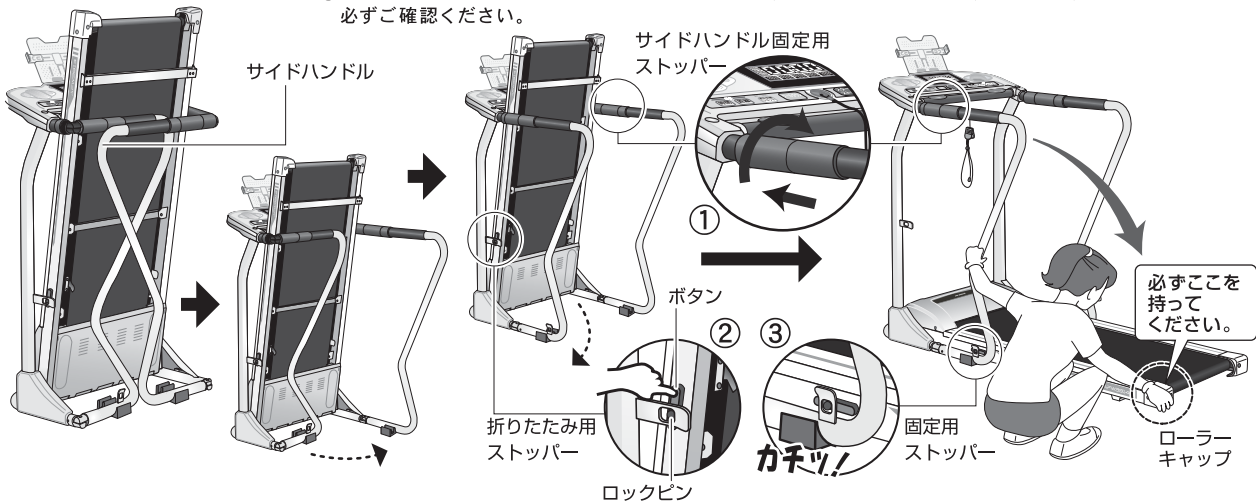
歩行板の開き方・折りたたみ方法・移動方法

歩行板の開き方・折りたたみ方法

歩行板の開き方

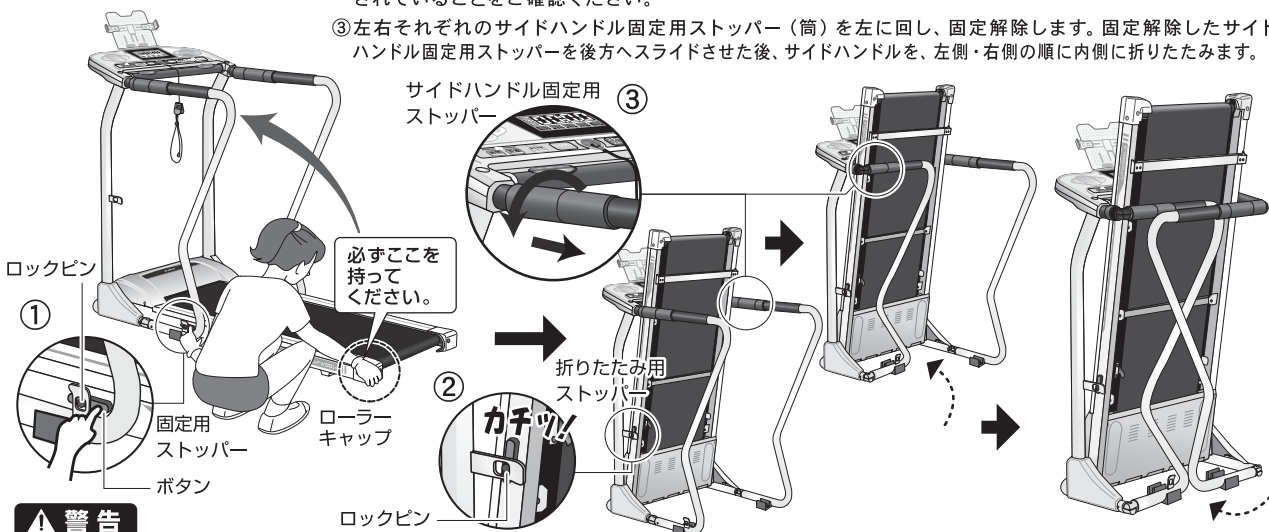
①折りたたまれているサイドハンドルを左右に開き、左右それぞれのサイドハンドル固定用ストッパー（筒）を前方にスライドさせ、右に回して、サイドハンドルをしっかり固定します。

②歩行板が倒れないように、右手でローラーキャップを持った状態で、左手で歩行板左側のロックピン上のボタンを押し、折りたたみ用ストッパーのロックを解除します。そのまま、ゆっくりと歩行板を降ろします。

③歩行板を最後まで降ろした後、歩行板左側のロックピンが固定用ストッパーにロックされていることを必ずご確認ください。

折りたたみ方法

①左手で歩行板左側のロックピン手前のボタンを押し、固定用ストッパーのロックを解除した状態のまま、右手でローラーキャップを持ち、歩行板をゆっくりと持ち上げます。

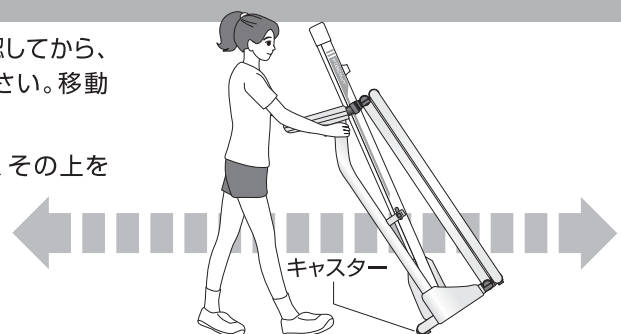
②歩行板を最後まで持ち上げた後、歩行板左側のロックピンが左支柱側の折りたたみ用ストッパーにロックされていることをご確認ください。

③左右それぞれのサイドハンドル固定用ストッパー（筒）を左に回し、固定解除します。固定解除したサイドハンドル固定用ストッパーを後方へスライドさせた後、サイドハンドルを、左側・右側の順に内側に折りたたみます。

⚠ 警 告

※折りたたみ時は、必ずロックピンが折りたたみ用ストッパーでしっかり固定されているかご確認ください。歩行板が倒れる場合があり、大変危険です。
※歩行板を上げ降ろしする時には、必ず最後まで歩行板（ローラーキャップ部）から手を離さないでください。

移動方法

本体を折りたたんだ状態で、歩行板が固定されている事を確認してから、本体支柱を握り、ゆっくりと図のように倒して移動してください。移動時に床が傷つかないようご注意ください。

※床を傷つけないように床面を保護するマットなどを敷き、その上を移動させてください。

ご使用前の確認・歩行ベルトの調整方法

ご使用前の確認 （安全の為毎回、ご使用前に同じ確認をしてください。）

歩行ベルトの確認

輸送中やご使用によってベルトがたるんでいる可能性があります。必ずベルトがたるんでいないかご確認ください。

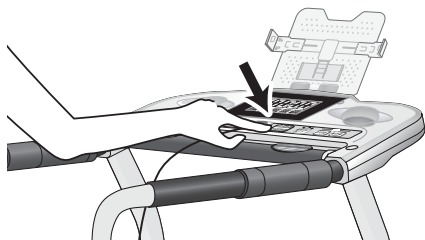
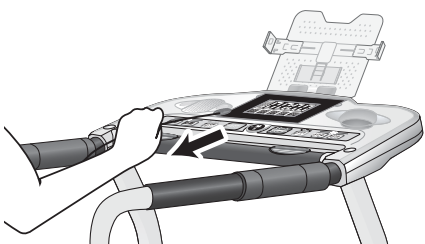
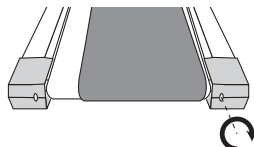
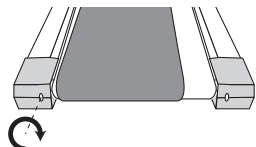
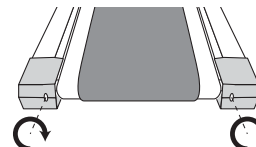
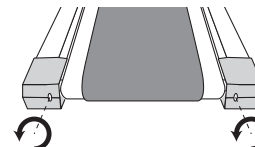
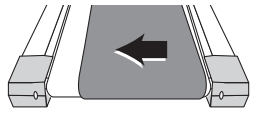
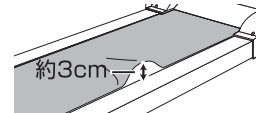
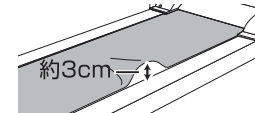
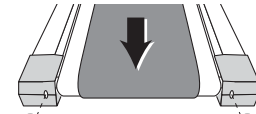
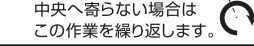
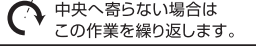
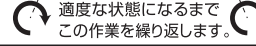
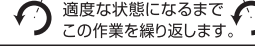
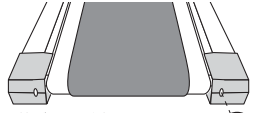
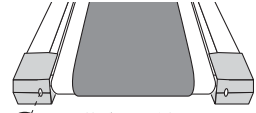
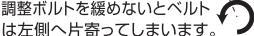
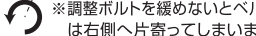
●確認方法
低速（1km/h程度）の状態でベルトの上に乗り、ベルトに抵抗を加えて滑らないか確認してください。

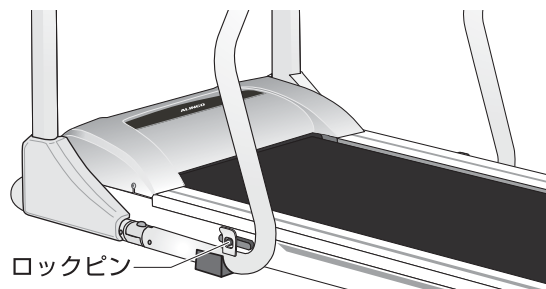
●調整方法
ベルトの調整方法はP13の「歩行ベルトの調整方法」をご参照ください。

ベルトの回転に抵抗しても、
ベルトが回る事を確認

停止時のタイミング

「スタート／ストップボタン」を押した時や「安全キー」をはずした時にどの程度で止まるのかをご使用前に確認してください。

●スタート／ストップボタンを押した場合…

●安全キーをはずした場合…

歩行板の固定確認

ご使用前には必ずロックピンで歩行板をしっかりと固定してください。

ご使用前の確認・歩行ベルトの調整方法

通常の作動音以外の音が発生した場合、ベルトの片寄りやベルトの縁が擦れている場合があります。
その時は下図のように本体後方にあるベルト調整ボルトを付属工具で回して、ベルトの片寄りを調整してください。

ベルトが右に寄る場合

①右側の調整ボルトを付属工具で時計回りに45°締めます。

②歩行ベルトを回すと、ベルトは左へ寄っていきます。

③歩行ベルトを回しても、ベルトが中央へ寄らない時は、さらに時計回りに45°締めてください。

④歩行ベルトが中央付近へ戻ってきたら、調整ボルトを反時計回りに少し緩めます。

※調整ボルトを緩めないとベルトは左側へ片寄ってしまいます。

ベルトが左に寄る場合

①左側の調整ボルトを付属工具で時計回りに45°締めます。

②歩行ベルトを回すと、ベルトは右へ寄っていきます。

③歩行ベルトを回しても、ベルトが中央へ寄らない時は、さらに時計回りに45°締めてください。

④歩行ベルトが中央付近へ戻ってきたら、調整ボルトを反時計回りに少し緩めます。

※調整ボルトを緩めないとベルトは右側へ片寄ってしまいます。

ベルトがたるんでいる場合

①左右の調整ボルトを付属工具で均等に時計回りに45°締めます。

②調整後はベルト全体が板から少し浮き上がった状態で、ベルトの中程をつまみ上げ約3cm程度持ち上がるか確認してください。

③それでも歩行ベルトがたるんでいる時はさらに均等に時計回りに45°締め、ベルトの張りを確認してください。

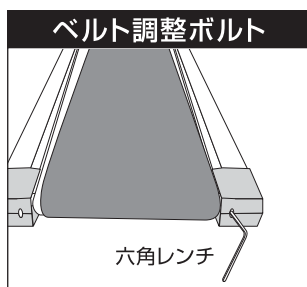
ベルトが張り過ぎている場合

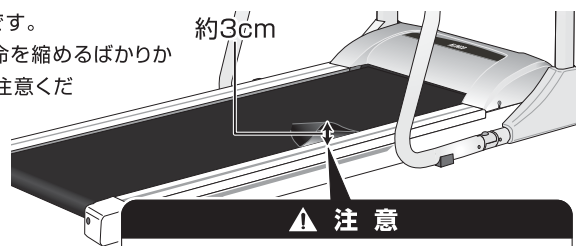
①左右の調整ボルトを付属工具で均等に反時計回りに45°緩めます。

②調整後はベルト全体が板から少し浮き上がった状態で、ベルトの中程をつまみ上げ約3cm程度持ち上がるか確認してください。

③それでも歩行ベルトが張り過ぎている時はさらに均等に反時計回りに45°緩め、ベルトの張りを確認してください。

ベルトの調整後は空回しを行い、歩行ベルトが安定している状態を確認してください。
ベルトが片寄る場合には、再度ベルトの調整を手順①から行ってください。

ベルト調整ボルト

※ 適度なベルトの張り具合は、ベルト全体が板から少し浮き上がった状態で、ベルトの中ほどの端をつまみ上げ約3cm程度持ち上がるのがちょうど良い状態です。
あまりピンと張りすぎると、ベルトの寿命を縮めるばかりかベルト切れの原因にもなりますのでご注意ください。

約3cm

⚠ 注意

ベルトの回転をスムーズにする為、ベルトのスリップや急停止を感じられるようになりましたら、シリコンオイルまたはシリコンスプレーを塗布してください。
（シリコンオイル、シリコンスプレーは、お近くのホームセンターなどで市販されています。）
詳しくは、P14「シリコンオイルの塗布について」をご参照ください。

■ 歩行ベルトの継ぎ目について

歩行ベルトの継ぎ目（接着面）は、色が異なりますが、異常ではございませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 注意 ベルトが動いている状態では危険ですので、電源を切ってから調整ボルトを回してください。

⚠ 注意 運動中及び機械の移動・調整の際には、必ず水平な場所で付属のマットを敷いて行ってください。

⚠ 注意 ホイール部分は非常にデリケートで精密にできています。ベルトが片寄ったままの歩行、本体が左右に激しく揺れる程の走行は絶対にお避けください。過激な走行は故障の原因となります。

⚠ 警告 運動中は絶対にホイール部分やローラーなど駆動部分には触らないでください。巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。

※歩行ベルトは消耗品です。交換用パーツ（有償）は弊社代理店にてお取り寄せできます。

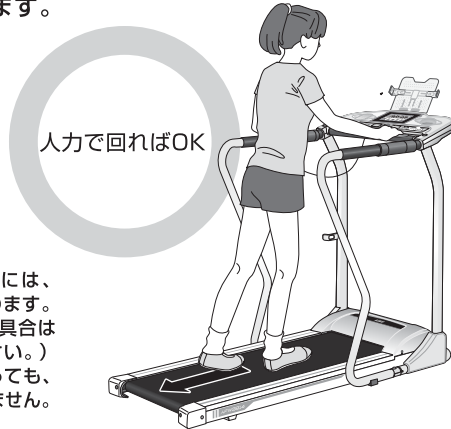
歩行ベルトの調整後は、P12「ご使用前の確認」の内容と、P14「シリコンオイルの塗布について」の内容を必ず確認してください。

シリコンオイルの塗布について

歩行ベルトの回転が鈍くなってくると、モーターへの負担が大きくなり、モーターの故障・基板故障・ヒューズ切れなどの原因になります。故障を防止するために、以下の手順でベルトの回転（滑り）の確認・メンテナンスを行ってください。

※シリコンオイル、シリコンスプレーはお近くのホームセンターなどで市販されています。

確認作業 1

- □ 人が乗っていない状態と比べ、人が乗ると極端にベルトの回転速度が遅くなることはないですか?
- □ 電源を切った状態で、人力でベルトを回してみてください。回転が非常に重たい場合には、ベルトの滑りが悪くなっています。

⚠ 注 意

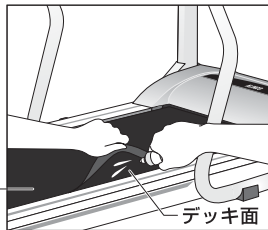
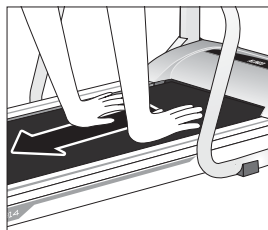
人力でベルトを回した時には、モーターによる抵抗があります。（購入当時のベルトの滑り具合は正常ですのでご安心ください。）ベルトの回転に抵抗があっても、人力で回る分には問題ありません。

確認作業 2

- □ 歩行ベルト下のデッキ表面の摩擦を取り除くために、シリコンオイルを塗ってください。

● シリコンオイルの塗布方法

歩行ベルトを少し持ち上げ、シリコンオイルをベルト下のデッキ面に塗布します。
（左右それぞれから行ってください。）

歩行ベルト
デッキ面

その後、人が乗っていない状態で歩行ベルトを低速で回転させて、ベルト表面を手で押さえながら、デッキ面全体にシリコンオイルを塗り拡げていきます。

確認作業 3

- □ 再度、電源を切った状態で人力でベルトを回し、ベルトの回転（滑り）が改善されていることを確認してください。

■シリコンオイルの塗布についての注意点

シリコンオイルは、歩行ベルト下のデッキ表面の摩擦を取り除き、モーターに負担をかけないようにする為に塗ります。

※出荷時にはシリコンオイルは塗布されています。	⇒	○購入当初からシリコンオイルを塗布する必要はございません。 ○シリコンオイルの塗布時期は、4～6ヶ月毎が目安です。
※シリコンオイルの塗り過ぎにもご注意ください。	⇒	○シリコンオイルを多量に塗布されると、駆動部タイミングベルトにまでオイルが付着し、ベルトの空回りなど、故障の原因となります。

お手入れ方法・故障かな？と思う前に

お手入れ方法

本機を長期にわたりご使用いただくため、定期的にお手入れください。

⚠警告 お手入れの際には、必ず本体メインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

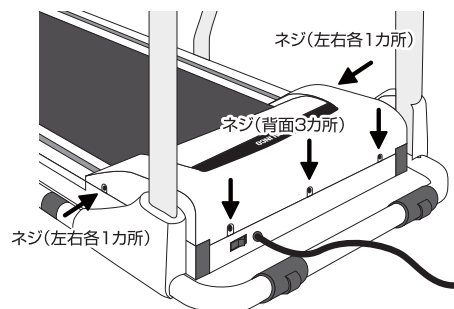
■ 本　体 ： 汚れが落ちない場合、中性洗剤を薄めて拭きとってください。

⚠注意 歩行ベルトの下のデッキ表面には、特殊な加工が施されていますので、絶対に洗剤など使用しないでください。

■ ホイールカバー内 ： 乾いた柔らかい布などでほこりを取り除いてください。

特に、本体ホイールカバー内部には、ベルトの回転によって吸い込まれたほこりが溜まり、場合によっては故障の原因になります。
1ヶ月に1回は、本体ホイールカバーを開け、内部のほこりを取り除いてください。

ホイールカバーの開け方

1. 本体メインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. ホイールカバーを固定しているネジ（5ヵ所）を緩め、ホイールカバーを取り外してください。ほこりを取り除いた後は、再びホイールカバーを閉じ、全てのネジを締めてください。

⚠注意 作動直後は、ホイールカバー内の部品（モーターや基盤など）は熱を持っています。
ホイールカバーを開ける際は、電源プラグを抜き、1時間以上経ってからホイールカバーを開けてください。

■ 故障かな？と思う前に

下記の項目を一度チェックしてください。

症　状	チェック箇所
●歩行ベルトが片寄る場合 ➡	○本製品の設置場所が水平な場所か確認してください。 ○歩行ベルトの調整をしてください。（P13「歩行ベルトの調整方法」参照）
●歩行ベルトがたるむ場合 ➡	○歩行ベルトの調整をしてください。（P13「歩行ベルトの調整方法」参照）
●歩行ベルトがスリップする場合（スムーズに回らない場合） ➡	○歩行ベルトを張ってください。（P13「歩行ベルトの調整方法」参照） ○歩行ベルト下のデッキ表面にシリコンオイル（シリコンスプレー）を塗布してください。（P14「シリコンオイルの塗布について」参照） ※シリコンオイル、シリコンスプレーはお近くのホームセンターなどで市販されています。
●異音がする場合 ➡	○各部のネジのゆるみを確認してください。 ○歩行ベルトの片寄りを確認してください。（P13「歩行ベルトの調整方法」参照）
●正常な表示が出ない場合 ➡	○本体メインスイッチを切り、再びONにし、始めから操作を行ってください。 ○「----」という表示が出た場合は、安全キーが外れている、またはきちんとセットされていない状態ですので、安全キーをセットしなおしてください。
●ボタンを押しても受け付けない場合 ➡	○操作手順を確認してください。 ○ボタンをしっかり押していますか。
●モーターが回らない場合 ➡	○本体メインスイッチがONになっていますか? ○安全キーは正しくセットされていますか? ○コンセントの差し込みを確認してください。 ○操作手順を間違えていませんか?（P9、P10の操作方法をもう一度ご確認ください。）
●スピードが上がらない ➡	○室温が低いとモーターが温まるまでスピードが上がりません。室温を上げてご使用ください。

上記チェックを行っても直らない場合、またはその他の状況が発生した場合には、お手数ですが弊社カスタマーサービス課までお電話またはFAXでその状況を伝えてください。その際、上記以外の確認ポイントを説明させて頂く場合がありますがご協力の程お願いします。

トレーニングについて

アルインコフィットネス機器をより効率良く･効果的にご使用いただくために適した運動方法を紹介します。
運動する方の体力、年齢、運動経験などには個人差があり、普段運動していない方が急に負荷の高い運動をすると心臓等に負担をかけ、大変危険ですので無理をせず、マイペースに行いましょう。

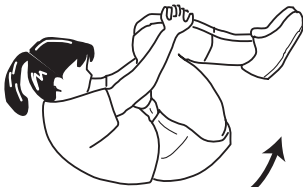
ウォームアップはケガの予防、柔軟性の向上につながります。

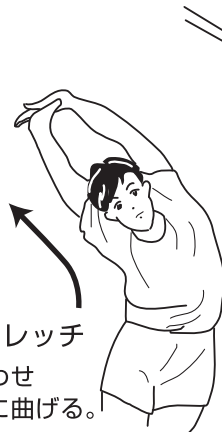
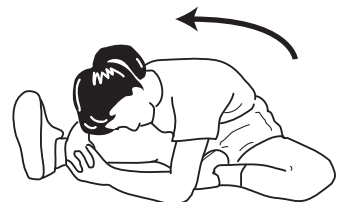
クールダウンは運動の疲れを取り除き、心身をリラックスさせてくれます。

これから運動を始める方・久しぶりに運動をする方は、運動頻度は週2回から運動を始め、ウォームアップからクールダウンまで20～40分を目標にしましょう。

ウォームアップとクールダウン

ストレッチ例　運動前後に必ず行ってください。

○腰のストレッチ
膝を両手で抱え、8～10回ローリングする。

注）アゴを引いて行いましょう。

○脇のストレッチ
両手を合わせ身体を横に曲げる。

○脚のストレッチ
後ろ足のかかとを床に押していく。

足首をつかみ上体を前傾させる。

クールダウンの方法は様々ですが、上記ストレッチの他、バイクなら軽い負荷でゆっくり5～10分間続け、ウォーカーならゆっくりと歩く程度で同じく5～10分間続けてください。

メインエクササイズ

有酸素運動=しっかり呼吸をして酸素を体内に取り入れながらゆっくり長く運動すること

目的 ① 体脂肪の燃焼（ダイエット）

目的 ② 心肺機能の向上

より良い効果を得るには、個々の目的に合わせた正しい運動方法（心拍数チェック）を覚え、実践することです。
運動の強度により、体脂肪の燃焼に効果的なのか、心肺機能の向上に効果的なのかにわかれます。

目的 ① 体脂肪燃焼（ダイエット）のための運動

年齢	最大心拍数（1分間）	運動中の心拍数	
		1分間	10秒間
15	205	133〜113	22〜19
20	200	130〜110	22〜18
30	190	124〜105	21〜18
40	180	117〜 99	20〜17
50	170	111〜 94	19〜16
60	160	104〜 88	17〜15
70	150	98〜 83	16〜14

左表はどれくらいの心拍数で運動すればよいかの目安を示しています。心臓が脈打つ限界の回数(最大心拍数)は年齢によっておおよそ決まっています。表の最大心拍数では、40才の人なら心臓は1分間に180拍が上限になります。
体脂肪の燃焼が目的の場合、左表からご自身の年齢に適した1分間の心拍数(最大心拍数の55〜65%)を目安に、運動中この心拍数を維持するようにしましょう。

目的 ② 心肺機能向上のための運動

年齢	最大心拍数（1分間）	運動中の心拍数	
		1分間	10秒間
15	205	174〜133	29〜22
20	200	170〜130	28〜22
30	190	162〜124	27〜21
40	180	153〜117	26〜20
50	170	145〜111	24〜19
60	160	136〜104	23〜17
70	150	128〜 98	21〜16

心肺機能向上のための運動は、体脂肪の燃焼が目的の運動に比べ、目安となる心拍数はやや高めになります。
心肺機能の向上が目的の場合、左表からご自身の年齢に適した1分間の心拍数(最大心拍数の65〜85%)を目安に、運動中この心拍数を維持するようにしましょう。

上表にある目的別の心拍数は年齢を目安として運動の心拍数を算出していますので、個人の体力レベルによっては表の心拍数で運動するときつく感じたり、非常に楽だということがあります。より自身の目的に適した運動の心拍数は下記の計算式にご自身の年齢と安静時の脈拍を測ることで計算していただけます。

$$\{(220-\text{年齢})-\text{安静時心拍数}\} \times \begin{matrix} 0.55\text{(体脂肪の燃焼が目的)} \\ 0.65\text{(心肺機能向上が目的)} \end{matrix} + \text{安静時心拍数}=\text{運動の目標心拍数}$$

心拍数のチェック方法

脈拍の取りにくい方や正確な心拍数を測定するには右図のように左手首内側上部を右手の中指と人さし指で押さえます。1分間を測るのは大変ですから、上表のよう10秒間測り、その数値を6倍して1分間の心拍数に換算しましょう。

運動は20〜30分を目標にしましょう。
また、1週間に2回を目安にはじめ、慣れてきたら徐々に回数を増やしていきましょう。運動を楽しく継続して行うことが、最も効果的で効率の良い健康への近道です。

運動を開始して体脂肪の燃焼が活発になるまで20分ほどかかります。運動を開始して最初の20分は血液の中を流れている脂肪がエネルギーとして利用されます。血液中の脂肪が燃焼され減ってくると、蓄えられている皮下脂肪や内臓脂肪を分解し、エネルギーとして利用しはじめます。そのため、体脂肪を燃焼させ効果的に減量(ダイエット)するためには、20分以上のゆっくりとした運動を続けることが大切です。
とはいえ、いきなり20分以上の運動をするのはとてもきつく感じてしまいます。運動を開始して20分以内では、ドロドロの血液をきれいにすることができますので、健康維持を目的の場合は20分以内でも効果があります。ご自身の体力にあわせて、少しずつ運動の時間を長くしていきましょう。また、日常の体調管理、効果的な運動のためにも脈拍数のチェックは必ずおこなうようにしましょう。

保　証　書

この度は、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常の使用において、万一故障が発生しましたときは保証規約により無償修理をいたします。

保証規約

1．通常の使用により、万一、材質上または構造上の欠陥が生じた場合、お買い上げ店もしくは当社のサービス機関にお申し出ください。無償で新品と交換または修理をさせていただきます。ただし、以下の理由またはこれに準ずる理由により生じた故障等については本保証は適用されません。

a. 説明以外の誤操作、取扱上の不注意
b. 天災、火災、地震等による故障
c. 砂・泥・水かぶり等が原因で生じた故障
d. お買い上げ後の転居等による輸送、移動、落下等
e. 保存上の不備
f. 当社規定の修理取扱所以外で行われた修理等による故障
g. 本製品本来の使用目的以外の使用
h. 学校・スポーツジム・業務用等の不特定多数による使用
i. 日本国外でのご使用の場合
j. 本保証書の添付のない場合

2．保証の対象となるのは本体のみで、使用に伴う消耗部品は、保証の対象とはなりません。
3．修理品については運賃、諸費用は原則としてお客様にてご負担願います。
4．無償保証期間はご購入日から1年間です。
5．保証の適用されない故障及び保証期間（1年間）が切れた後の故障につきましては、有償で修理いたします。
6．本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管しておいてください。
7．本保証書はお買い上げ年月日、販売店名、販売店印が記入されていないと無効です。
但し、本保証書は製品と一緒に梱包されておりますので、販売店印がもらえない事があります。
その際は、レシートをここに添付して、販売店印の代わりとして下さい。

ご購入店名	印	おなまえ	
		おところ	〒
ご購入年月日		電話番号	（　　）ー

※お客様にご記入いただいた保証書（個人情報）は、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

アルインコ株式会社　フィットネス事業部　大阪府高槻市三島江1-1-1

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上の販売店またはカスタマーサービス課までお問合せください。
なお、この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後、約2年です。
詳しくは、カスタマーサービス課までお問合せください。

ALINCO アルインコ株式会社
カスタマーサービス課

フリーダイヤル　0120ー30ー4515
（AM10:00～PM4:00　但しPM12:00～1:00及び土・日・祝祭日を除く）
上記以外受付FAX:072ー678ー6410